

釜石労働基準監督署からのお知らせ

令和6年
9月

1 釜石支部主要企業訪問

取材協力：公益財団法人岩手労働基準協会釜石支部

8月6日に株式会社山長建設様を訪問しました。

株式会社山長建設

【安全衛生管理実施計画表】

毎年1年間の安全衛生活動計画を策定しています。

月間の主要行事、重点目標を定め計画的な安全衛生活動ができるよう管理ができています。



現場の巡視についても、専属の職員が行い、巡視結果は安全衛生委員会で検討され有効活用されています。

【熱中症対策】

各現場には熱中症措置応急セットをもれなく完備、現場ごとに熱中症予防情報を設置し、現在のWBGT値がわかるように掲示がなされています。現場にはファン付きの空調作業着を支給しています。この作業着は夏の現場には必須です。



・熱中症予防自己チェックシート
作業員自身に、日々の健康状況、体調等のチェックをしてもらい、それを提出させています。

体調不良者の早期発見、作業員自身の熱中症の予防に対する意識向上に効果的です。

【転倒防止】

アスファルト舗装の切削工の段差は、「段差注意」を路面に印刷して「見える化」しています。作業員だけではなく、通行人の転倒防止にも役立っています。



【安全決意宣言】

社長の安全に対する決意表明を筆頭に、全作業員が自分自身の安全活動に対する決意を表明しています。

全員の決意宣言が掲示しており、作業員にとっては、他の人の決意内容も確認することができ、労使双方の安全意識の向上につながっています。



【働き方改革】

完全週休2日制と毎週水曜日のノー残業デーの設定により、長時間労働はありません。現場の業務の分担制も積極的に取り組んでおり、快適な職場環境を目指しています。



【受動喫煙対策】

空気清浄機を完備した喫煙室を設置しています。エアコン完備であり、夏場は熱中症対策の休憩場所にもなっています。



2 労働災害発生状況

【令和6年7月末現在（前年同期と比較して11件（32.4%）の増加）】

休業4日以上労働災害 45件（前年同期34件）（新型コロナ感染症に関する労働災害を除く）
死亡災害 1件（同0件）

【7月届出の災害事例】

油圧ショベルの塗装作業をエンジンをかけて、履帯を回転させながら行っていたところ、塗装カスを発見し右手を添えたところ巻き込まれた。

回転中の機械に触れることは非常に危険です。動作停止後の作業を徹底させてください。

3 全国労働衛生週間（10月1日から7日まで）

スローガン：「推してます みんな笑顔の健康職場」

全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間です。昭和25年に第1回が実施されて以来、本年で第75回を迎えます。この機会に自主的な労働衛生管理活動の大切さを見直し、積極的に健康づくりに取り組んでみましょう。

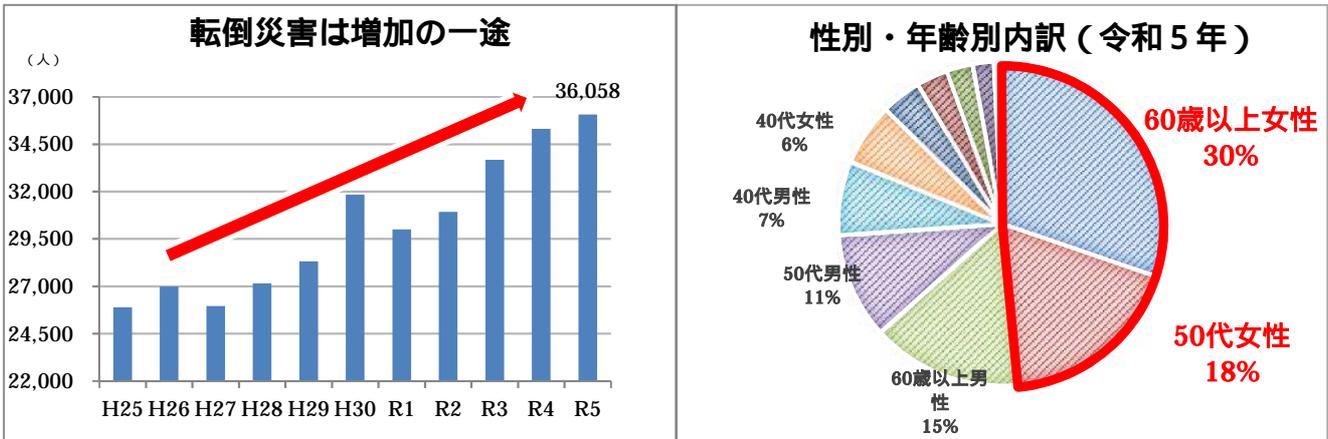
準備月間の重点実施事項

過重労働による健康障害防止対策、
労働者のメンタルヘルス対策、
高齢労働者に対する健康づくりの推進、
化学物質による健康障害防止対策、
石綿による健康障害防止対策、
治療と仕事の両立支援対策 など



4 労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています。



➤ **加齢とともにすべての人が、転びやすくなります**

✓ いますぐ「転びの予防 体力チェック」



✓ 「毎日かんたん！口コモ予防」（出典：健康寿命をのばそう SMART LIFE PROJECT）



➤ **特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します**

✓ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう



✓ 骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」（出典：健康寿命をのばそう SMART LIFE PROJECT）